

春季 県高校野球 第5日

8強決まる

春季東北地区高校野球県大会は第5日の17日、青森市の県営、八戸市長根公園、弘前市はるか夢、六戸メイプルの4球場で3回戦8試合を行い、ベスト8が決まった。青森北は2投手の零封リレーで八戸工を4-0で破った。八戸学院光星は同点で迎えた九回に一挙5得点して弘前東に勝利。八工大二は八戸との同地区対決を9-5で制し、青森山田は東奥義塾を4-2で振り切った。このほか、八工大一、弘前工、弘前学院聖愛、聖ウルスラが勝ち上がった。第6日の18日は、県営と長根公園で準々決勝4試合を行う。
（本紙取材班）

きょうの試合

（左のチームが一塁側）

◇準々決勝◇県営	◇八戸市長根公園
弘前工—青森北（10・0）	八工大—八学光星（10・0）
弘学聖愛—八工大二（12・30）	青森山田—聖ウルスラ（12・30）

光星 9回勝ち越し

弘東 終盤踏ん張れず



▽3回戦八戸市長根公園
八学光星 3000 005 015 611
弘前東 3000 005 015 611
（弘）柴田、及川、秋元、米
（弘）成田、戸澤、櫻庭、
戸澤、櫻庭、坂本、櫻庭、
▽三塁打 押田小、光田（弘）
米谷（弘）▽二塁打 押田心
（弘）
▽暴投 柴田、及川（弘）
【評】八学光星が熱戦を制した。6-6で迎えた九回無死満塁、代打松本が中前へ2点適時打を放ち、勝ち越しに成功。四死球や山上の中前適時打でさらに3点を奪って

突き放した。投手陣は12安打を許しながらも柴田、及川、秋元の継投で逃げ切った。五回までリードした弘前東は六回に先発成田、2番手のエース戸澤がつかまった。七回以降は2度同点に追いついたが、終盤に再登板した戸澤が踏ん張れなかった。
【八学光星 弘前東】9回表、八学光星無死満塁、代打松本が中前に2点適時打を放ち、8-6と勝ち越し、長根

松本「狙った」満塁で決勝打

6-6の九回無死満塁の好機。八学光星の仲井監督が代打で送り出したのは、今大会から背番号をつかんだ松本だった。「狙っていた」というスライダーを力強く中前へはしき返すと、一塁上で大きくガッツポーズをしてベンチの仲間への歓声に応えた。
この日が公式戦初打席ながら、勝ち越しの2点適時打を放ち「うれしかった。この一打が自信につながった」と笑顔。仲井監督も「よく打てくれた」とたたえた。
チームは8強入りを果たしたものの、中盤までは打線のつながりを欠き、相手を追いかける展開が続いた。指揮官は「走攻守全てに課題がある」と指摘した上で「総力戦で戦つことを選手たちが自覚する意味では、今日の勝ちは大い。次戦も粘り強く、泥く戦つて語った。
（棟方好華）

東奥日報社提供

この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです